

大きくなったら何になる？ —内原保育所・番組収録—

1月30日(水)、内原保育所(田村真由美所長)で、ZTVの番組「大きくなったら何になる？」の収録が行われました。収録では、年長の園児たちが大きくなったら何になりたいかを一人ずつカメラの前で発表。

「警察官になって、悪いことをする人をなくしたい！」
「パン屋さんになって、みんなに美味しいパンを作りたい」と、将来の夢を笑顔で話していました。最後は全員で元気よく歌を歌って収録は終了。

日高町内保育所で収録した内容は、3月4～10日の8時、13時、19時30分、23時30分から放送される予定です。

※都合により番組編成が変わることがあります。



タバコの怖さを学ぼう —比井小学校・喫煙防止教室—

1月30日(水)、比井小学校(古川悟校長)にて、喫煙防止教室が行われました。

この教室は、毎年町内の小中学校で実施されており、当日は、楠山整形外科医院の楠山一男先生により、5年生の児童11名がタバコの怖さについて勉強。タバコを吸いすぎると肺が悪くなったり血管が詰まりやすくなってしまうことや、15歳以下の喫煙が特に危険であり、心や身体の成長が遅れてしまったり、集中力や運動能力が落ちてしまうといった危険性を学びました。



楠山先生による話や、クイズなどを交えてタバコについて勉強。児童は真剣な表情で臨み、子どものうちからタバコを吸ってしまうことの怖さを学んでいました。

自分たちでお茶をたててみよう —学童保育所・茶道教室—



12月27日(木)、中央公民館2階和室にて、学童保育所茶道教室が行われました。

この教室は、学童保育所に通っている児童に、子ども茶道教室の先生方がお茶について指導するもので、当日は希望者6名が参加。先生のたてたお茶を飲んだり、自分でたてたお茶を友達に飲んでもらったりしながら、お茶の作法などについて学びました。

児童らは、慣れない正座や初めて学ぶお茶の作法に苦戦しながらも、「楽しかったし、お茶も美味しかった。」「勉強になった。茶道教室に入ってみたいと思った。」と、貴重な機会を楽しんだ様子でした。

急いで安全な場所へ逃げよう —比井保育所・避難訓練—

1月25日(金)、比井保育所(川端雅子所長)で、地震に対する避難訓練が行われました。

当日は地震発生の放送が流れると、児童らは先生の指示で急いで机の下に隠れ、その後防災頭巾を被り、救命胴衣を持って避難。全員避難場所まで集合すると「先生の言うことを聞いてすぐに避難すること」「まずは安全な場所に逃げること」など、安全に避難するために大事なことを先生から教えてもらいました。

同保育所では、災害時に全員で安全な場所に避難するため、地震、火事や津波に対する避難訓練を定期的に行っています。

